

令和2年9月5日

当院における新型コロナウイルス感染者の発生について（第3報）

鈴鹿厚生病院  
院長 中瀬 真治

令和2年9月2日、当院の病棟に勤務している准看護師2名が、新型コロナウイルスに感染していることが判明したこと、感染した准看護師が勤務する病棟の入院患者9名が新型コロナウイルスに感染したことはお知らせしたところです。その後、当該病棟の入院患者および職員に対して、PCR検査を実施した結果、入院患者21名、看護師1名、看護補助員1名の陽性が判明いたしました。合わせて入院患者30名、職員4名の感染を確認しています。

当院において、クラスターが発生する事態となり、患者さまやご家族、地域の皆様には多大なご心配、ご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

国のクラスター対策班や県のクラスター対策グループ、保健所の指導に基づき、濃厚接触者を2週間の自宅待機とし、患者さまへの十分な健康観察とともに、徹底した消毒を行っています。

診療につきましては、当該病棟の入退院および外来（初診）、デイケアセンターを休止としますが、当院に通院中の患者さまにつきましては対応させていただきます。

皆様には多大なご心配・ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。